

同軸配管式循環揚水法が地下水観測に与える影響

Effects of circular pumping method on groundwater observation

角森 史昭[1]; 五十嵐 丈二[2]; 野津 憲治[3]

Fumiaki Tsunomori[1]; George Igarashi[2]; Kenji Notsu[3]

[1] 東大院・理・地殻化学; [2] 東大・理・地殻化学; [3] 東大・院理・地殻化学

[1] Lab. Earthquake Chem., Univ. Tokyo; [2] Lab. for Earthq. Chem. Univ. of Tokyo; [3] Lab. Earthquake Chem., Univ. Tokyo

われわれは、同軸配管式循環揚水法を用いて、地下水溶存ガス組成の連続観測を行っている。この方法は、水位変化や湧水量と同時に地下水溶存ガスの観測を行うために考案されたものである。今回の報告では、御前崎 500m 井において、この方法による揚水が 1) 地下水位、2) 帯水層温度、3) 溶存ガス組成、それぞれに対してどのような影響を与えるかを詳細に検討する。